



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：鈴木弘康

幹事：松村耕平

発行：会報・広報委員会

第 3395 例会 (3号) 2025 年 7 月 17 日 (木) 曇り

会員卓話 SPEECH



福島民報社いわき支社長 渡部 育夫 会員

昨年暮れの卓話では、新聞で「人の死」を扱う大きさの判断基準などについてお話ししましたが、2回目となる今回は、いわきを含め震災・原発事故の被災地を歩いてきて思うことを伝えさせていただきたいと思います。

震災と原発事故が起る来年で15年の節目となります。最も多い時で約16万人の県民が避難生活を強いられ、今なお約2万4,000人が地元に戻れないでいます。福島県内の津波などで亡くなった方、いわゆる直接死は1,605人ですが、避難の影響で体調が悪化するなどして亡くなった、いわゆる関連死が2,348人もいまして、直接死よりも関連死が多いというのが宮城、岩手と違う福島県の特徴だと思います。

14年たちまして、現場にいる記者としての思いのようなものを、今年の正月の論説に書いたんですが、印象を一言でいうなら「まだら模様」という感じかなと思っております。復興が進んでいる部分と、時間が止まったままのような部分が、不規則に水と油のように存在している、そんな感じかなと受け止めております。

大熊町では大きな商業とオフィスの複合施設が3月にオープンしましたし、県内最大規模の道の駅をつくるという計画もあり、マルトも本格的な店を出店するそうです。隣の双葉町の駅前でも、イオンが8月1日にオープンしますし、飲食店などもできます。さらに、浪江町ではエフレイの本施設の工事が始まりました。完成は3年後で、研究者は海外も含めて500人ほどになり、その家族も移り住むようになります。ただ、計画通りに有意な人材をしっかりと集められるかどうかは、まさに今が正念場だと思います。

このように高速道路なども含めハード面の復興は大がかりに進んでいますけれども、一方で、今紹介した大熊、双葉、浪江、あるいは富岡などは住民の帰還があまり進んでいませんし、一方で移住希望者がかなり増えてるのに建設関係の人手不足や資材価格高騰などで住宅整備が追いつかない地域があったり、課題は山積んでいます。いまだにバリエードが外されずに立ち入りが制限されている帰還困難区域もまだまだ残っています。

そういう中で、「風化」というのは明らかに進んでいると思います。先週の論説で、参院選と風化というテーマで書かせていただいたんですが、全国ニュースであまり取り上げられなくなったですとか、今回の選挙でも一部の候補者を除いては福島の復興の話題はなかなか具体的には出てこないというのも、風化の表れではないかと思えます。

中でも、やっぱりなのは政治と行政の風化で、たとえば今後の復興政策をどうするかという政府の議論の中で、復興関係の財源はそもそも地元負担にしていくべきといった話が出てきています。地震や豪雨といった自然災害からの復興であれば、地元負担というのが基本的にあるわけですが、福島の場合は原発事故からの復興という国内では前例のない特殊なものでして、原子力政策という国策による被害という類いのものですから、復興道半ばの現状を見る限り、地元負担どころではないわけです。

政府は、来年度以降も今まで以上に復興予算を確保するという

方針を決めましたけれども、浜通りの首長からは、それ自体は歓迎する一方で、「それは復興予算じゃなくて地方創生予算を使ってくれとか、うやむやになってくるんじゃないか」と心配する声も聞きます。

課題の中でも大きなものは、第1原発の廃炉ですけども、2051年までに完了するという工程表がありまして、あと26年ということなんですけれども、去年の11月によく耳かき1杯程度、0.7グラムのデブリを取り出すことに成功しまして、さらに2回目までいきました。このようなペースですから、多くの新聞の論調を見ますと、2051年なんて無理なんだから、工程を見直しなさいという論調が目立つのですが、私は少し違和感がありまして、年齢を重ねていく住民のことを考えますと、目標を達成するんだということをしっかりと確約できるように、技術開発を加速させるべきだと思っています。

さらに、県内各地の除染で出た土壌を今は原発近くの中間貯蔵施設で大量に保管しているんですけども、2045年3月までに県外で最終処分することが法律に書かれています。すでにあと20年を切ってしまいましたが、見通しは全く見えていません。土壌を少しでも減らすために公共工事を使ったりする実験さえも、首都圏でやろうとしたら地元の反対に遭って実現しません。

ここからは、いわき市に住民票を移した市民としての思いも交えまして、いわきについて少しだけお話しさせていただきます。最近のいわきは、金融機関の不祥事ですとか、官製談合ですとか、大きな工場の撤退ですとか、これでもかと言わんばかりに大きな出来事が続きまして、うちの記者たちはかなり疲弊しています。

そうした中で、いわきFCのスタジアムが小名浜に2031年までに造られることが発表されました。ただの競技場ということではなく、5階建てのビルや多目的スペースも併設するというところで、年間でも試合があるのは20日程度ですから、残る345日も多くの人が訪れて楽しめる施設というのを重視してこれから具体的な計画を立てるそうです。小名浜では、常磐自動車道の湯本インターと勿来インターの間に小名浜インターができて、そこも含めて小名浜港方面に8.3キロほどつながる小名浜道路が8月7日に開通します。スタジアム建設に向けてアクセスや観光的な環境が向上するわけですけども、一方でJRの駅が遠いということで、福島臨海鉄道で人を運べるようにできるのかどうかなど、いろいろ注目していきたいと思っています。

平の方を見ますと、駅前の21階建てタワマンなどの、いわゆる並木の杜再開発が昨年末に終わりまして、ヨーカドー跡地のペパコの開業、駅ビルのエスパルなどと合わせまして、中心市街地のハード整備が進みました。今年3月には県が、駅前大通りを「ほこみち」という制度の対象に県内で初めて指定しました。これによりまして、歩道部分に、キッチンカーですとか、ベンチとか遊び場などを設ける基準が大幅に緩くなったわけです。

中心市街地の停滞というのは、私が昨年まで住んでいた福島市や古里の会津若松市などでも大きな課題となっていたわけですが、いわきではハード、ソフトともにこうした動きがあるわけですし、駅の北側では、磐城平城跡の公園化、さらには松村病院の移転計画もあります。今、官民間問わず多くの市民が関心を持って行動すれば、光は見えてくるんじゃないかと感じております。

それから、いわきをはじめ浜通りの道路を自転車の「ナショナルサイクルルート」として国の指定を受けようという動きがあり

UNITE
FOR
GOOD
Rotary

2025~2026年度国際ロータリーのテーマ

「よいことのために手を取りあおう」

UNITE FOR GOOD

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

ます。これは、既存の道路を自転車愛好家の利便性を高める形で国が財政支援したり、海外にPRしたりする制度なんです。福島民報としても、ツールドふくしまという自転車レースなどを開催しながら、指定を後押ししようと動いております。

また、いわき市は新しくできる防災庁を誘致したいということで、県内では一番早く手を上げました。被災地ですし、豪雨災害も含めて防災の知見はかなりありますから、候補地としては理にかなっていると思いますけども、他の市も追随するように手を上げていて、エフレイなども巻き込んでいく仕掛けも必要だと感じています。

司会：松村耕平幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我らの生業）・四つのテスト（河野剛直会員）〕



河野剛直会員

★誕生祝



川松 裕之さん
(7月26日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶



連日テレビ新聞などで報道されておりますが、3日後の20日は参議院選挙の投票日になっています。私は明日、週末と用事があるため、今日期日前投票に行ってくださいと考えております。

今回の選挙の中で、争点になっているのが、外国人に対する政策だそうです。党によって様々な考え方がありますが、私の顧問先でも外国人労働者を雇っている方が増えてきているというのが現状です。日本人を募集しても応募がないということ、また、外国人を採用してみたら真面目に働いてくれる人が多かったという理由で採用を増やしているようです。

ある顧問先からの話ですが、外国人労働者を採用するために現地（ベトナム）に実際に行き面接をしたそうです。日本では、後日連絡します。と言って書類を郵送する人が多いかと思いますが、その場ですぐに採用者を決めなければならないため、皆がいる前で、合格者を選んだそうです。そしたら、合格者はうれし泣き、不採用者はくやし泣きで、採用結果に対してみんな泣きだしてしまっただけです。日本に行き面接するかどうか、天と地の差があるんだそうです。

この話を聞いて、それだけ、日本に来て働けることに希望と明るい未来が待っていると真剣に考えている外国人が現状でも多いということを知りました。

その話を先日、別の事業者と話したら、その事業者も同じ状況になると言っていました。中には既婚者もいて、妻子を置いて日本に出稼ぎに来たい人もたくさんいると言っていました。だから、採用するにも、ものすごく悩み、かわいそうになるの、資金があるなら全員雇ってあげたいとも言っていました。

私自身、人生をかけて面接に臨むなんてしたことないですし、こういう外国の方が日本で働いてくれるなら、日本経済にとってはプラスになるのではと個人的には考えてしまっていますが、それ以上に、私も含めて、環境に恵まれている日本人はもっと頑張らないといけないと考えさせられます。

いわきは今年選挙イヤーです。報道機関、1有権者として真剣に向き合いたいと思っております。来年は合併60周年の節目でもあり、この地の盛り上げに努めていきたいと思っております。

最後に、弊社は企業向けの出前講座を行っております。今お話したような地域の動きとか被災地の復興といった話もありますが、文章の書き方、ニュースの読み方、メディアリテラシーといったものも、いろいろオーダーメイドでできますので、この春も新入社員研修で市内の企業にもご活用いただきましたけども、もしご関心あればお問い合わせいただければと思います。

30℃を超える日がしばらく続くようです。週末は3連休でお出かけする方もいらっしゃると思いますが、水分を十分にとっていただき、熱中症には十分に気をつけて過ごしていただければと思います。

◆幹事報告

・ハイライトよねやまが届きました。



◆委員会報告・会員報告

◆S.A.A（河野剛直委員）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
7月17日	42名	28名	1名

メーキャップ=横浜RC・土屋介様（ときわ会グループ顧問）

◆ロータリー財団委員会（関口武司委員長）

鈴木東雄さん、阿部弘行さん、清水和政さん、渡邊有さん、関口武司さん。以上5件

◆米山記念奨学会委員会（松村耕三委員長）

阿部弘行さん、清水和政さん、渡邊有さん、関口武司さん、鈴木東雄さん。以上5件

◆親睦活動委員会（稲葉廣直副委員長）

第1回コンペ・有賀会長杯取り切り戦は7月30日に延期しました。

◆スマイルボックス委員会（島田啓太委員長）

♥土屋了介さん（横浜からまいりました。よろしくお願ひ致します）♥有賀行秀さん（先週の皆勤賞ありがとうございました。渡部さん卓話よろしくお願ひ致します）♥川松裕之さん（誕生日のお祝ひありがとうございました）♥鈴木東雄さん（渡部さん卓話楽しみにしてます）♥黒須幸雄さん（渡部さん卓話よろしく）♥渡邊有さん（渡部支社長卓話よろしくお願ひ致します）♥佐々木貢一さん（渡部育夫様卓話宜しくお願ひいたします）♥出島規弘さん（渡部さん卓話よろしくお願ひ致します）♥関口武司さん（渡部さん、卓話宜しくお願ひ致します）♥飯野光世さん（渡部会員卓話楽しみです）♥稲葉廣直さん（渡部さん卓話よろしくお願ひ致します）♥清水和政さん（渡部さん宜しくお願ひ致します）♥島田啓太さん（渡部さん卓話よろしくお願ひ致します）以上13名

★本日の例会案内 7月31日（木）18：30～
納涼例会 タローズバル

★次回の例会案内 8月21日（木）12：30～
会員増強・分類選考委員会担当卓話

お食事メニュー=鰯たたきサラダ仕立て

※7日休会・七夕、14日休会・お盆